

社会の変え方。世界のやりかた。

イギリス・ブラジル・アフリカでの実践に学ぶ

開催結果レポート

主催団体名: ネイチャリング・プロジェクト (NPO法人)

内容: 下記のスピーカーによる講演及びパネルディスカッション

フェルナンダ・ボンハウゼン・サ 氏 (ブラジル) ボランティア活動協会 (IVA) 創始者・会長

ヴァレンティン・モリショ・ヨンボジェマ 氏 (コンゴ、イギリス) チャリティ団体「アフリカの礎」創始者・CEO

【コーディネーター】フリーダ・パーヴィス 氏 MBE (イギリス、大英勲章第五位) リンクス・ジャパン創始者・代表

※このライブトークは同時通訳なし、原則英語で行いました

趣旨・目的

九州の3都において、日本にはほとんど紹介されていないが各国の先端で活躍する「社会起業家」の話を直接聞く機会を創出し、国際的なネットワーク形成を促進することにより、既存の「社会起業家」及び志望者・関係者に示唆を与え活動発展の契機とするとともに、一般における「社会起業家」への理解と関心の深化を図ること。



福岡 @アクロス福岡 円形ホール

2011年11/14(月) 19:00-20:30

【後援】経済産業省九州経済産業局

ブリティッシュ・カウンシル

日本政策金融公庫 国民生活事業 こくきん創業支援センター福岡・熊本

公益財団法人日本財団

【各地後援】福岡県 福岡市 西日本新聞社

NHK福岡放送局 RKB毎日放送 FBS福岡放送

【来賓挨拶】

経済産業省 九州経済産業局長 滝本 徹 氏



参加者 52名

男女比 7:3

30歳未満 35%

30代 25%

40代 25%

50代以上 15%

熊本 @熊本市国際交流会館 第3会議室

2011年11/15(火) 19:00-20:30

【後援】経済産業省九州経済産業局

ブリティッシュ・カウンシル

日本政策金融公庫 国民生活事業 こくきん創業支援センター福岡・熊本

公益財団法人日本財団

【各地後援】熊本県 熊本市

財団法人熊本市国際交流振興事業団 熊本日日新聞社

NHK熊本放送局 KAB熊本朝日放送

RKK熊本放送 TKUテレビ熊本 KKTくまもと県民テレビ

【来賓挨拶】

熊本県 商工観光労働部 政策審議監 田中 邦典 氏



参加者 74名

男女比 6:4

30歳未満 30%

30代 15%

40代 15%

50代以上 40%

鹿児島 @コムスタ10 Cスタジオ

2011年11/16(水) 19:00-20:30

【後援】経済産業省九州経済産業局

ブリティッシュ・カウンシル

日本政策金融公庫 国民生活事業 こくきん創業支援センター福岡・熊本

公益財団法人日本財団

【各地後援】鹿児島県 鹿児島市

日本政策金融公庫 鹿児島支店 国民生活事業

南日本新聞社 NHK鹿児島放送局 MBC南日本放送

KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読売テレビ

【来賓挨拶】

鹿児島県 商工労働水産部長 白橋 大信 氏



参加者 85名

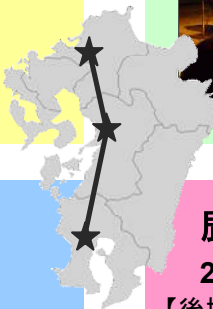
男女比 5:5

30歳未満 25%

30代 25%

40代 25%

50代以上 25%





Founder and Director of Links Japan
リンクス・ジャパン 創始者・代表
Phillida Purvis MBE (大英勲章第五位)
フリーダ・パーヴィス 氏
(UK イギリス)

パーヴィス氏が各地のライブトーク冒頭に、数百年にわたる慈善(チャリティ)活動の歴史があるイギリスにおいて、「社会起業家」という考え方がどのように誕生し発展したかについて説明するとともに、世界各地で異なる社会貢献事業のありかたについて概説しました。また、先進国と途上国(または先進国相互、途上国相互)のコミュニティ同士、住民同士がつながる新しいタイプの国際協力活動である「リンクング」についても紹介しました。(このライブトーク自体も「リンクング」の一環であると言えます。)



The founder and president of Instituto
Voluntários em Ação (IVA)
ボランテア活動協会
創始者・会長
Fernanda Bornhausen Sá
フェルナンダ・ボーンハウゼン・サ氏
(Brazil ブラジル)

広告会社を経営する傍ら、ブラジル初の「NPO・NGO等とボランテアをマッチングする機関(ボランテア・センター)」であるIVAを立ち上げた動機と経緯、マッチングをうまくいかせるための仕組みについて発表しました。国連等の協力によりIVAが立ち上げた、マッチングやボランテアの研修、NPO・NGO等の組織強化を担うポータルサイトの運営、ソーシャルメディアの活用によるボランテア集め、さらにはオンライン上でのボランテア実施の方法についても言及しました。「制度やテクノロジー自体よりも、いかに人を巻き込み、動かすかが重要だ」と繰り返し強調したことは、多くの参加者に深い印象を与えました。



Founder and CEO of Africa
Foundation Stone (AFS) Charity
チャリティ団体「アフリカの礎」
創始者・CEO
Valentin Molisho Yombo-Djema
ヴァレンティン・モリシヨ・
ヨンボジエマ 氏
(Democratic Republic of Congo
(DRC) コンゴ / UK イギリス)

社会の混乱により母国・コンゴ民主共和国を離れ移り住んだロンドンで、アフリカ系ディアスポラ(帰国を前提としない移住者)のコミュニティの厳しい現状を目の当たりにしたことをきっかけに立ち上げた、チャリティ団体「アフリカの礎」(AFS)の今までとこれからを発表しました。今後本格的に取り組む、財政的継続性を実現しつつ社会的価値を創出するリサイクルビジネスのモデルは参加者に重要な示唆を与えるものでした。ヨンボジエマ氏の使命感や熱意、AFSの活動により活路を得たHIVキャリアの女性のエピソードは、言葉を超えて多くの参加者の共感を呼びました。



パネル・ディスカッション、質疑応答、まとめ

パーヴィス氏のコーディネートにより、会場も巻き込み活発な議論が行われました。特に「財政的継続性を持って、いかに社会的事業を運営するか」ということについて感心が高く、多くの質問が寄せられました。また、綿密なビジネスプラン構築や計画的な人材育成・組織開発の重要性について、認識が共有されました。

開催結果まとめ

あまり前例のない通訳なし・原則英語のトークイベントでしたが、結果的に3都市合計で200名以上に参加頂きました。日本及びスピーカーが活動する国をよく知るコーディネータ(パーヴィス氏)による日本語解説もあり、社会起業の「世界のやりかた」を知る貴重な機会になったと思われま。また「言葉はわからなかったが、志や熱意は伝わった。」という声が多く聞かれ、「社会起業家」同士の国境を越えたリンクング、相互作用の可能性が示唆されました。1時間半という時間設定について、各地の参加者から「もっと聞きたい、質問したい」「もっと時間があればよかった」という声が聞かれたことは、主催者として課題と受け止め、今後活かしていく所存です。